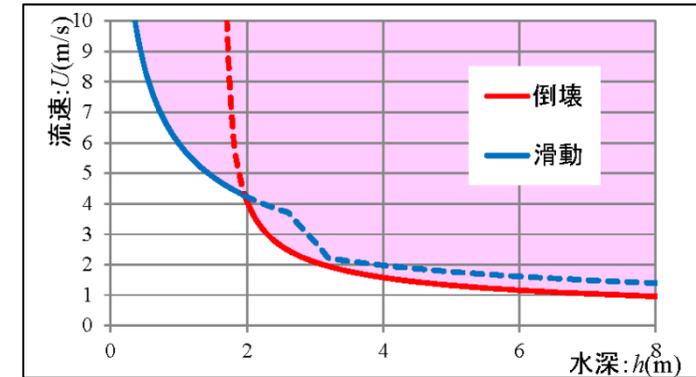


# 家屋倒壊等氾濫想定区域

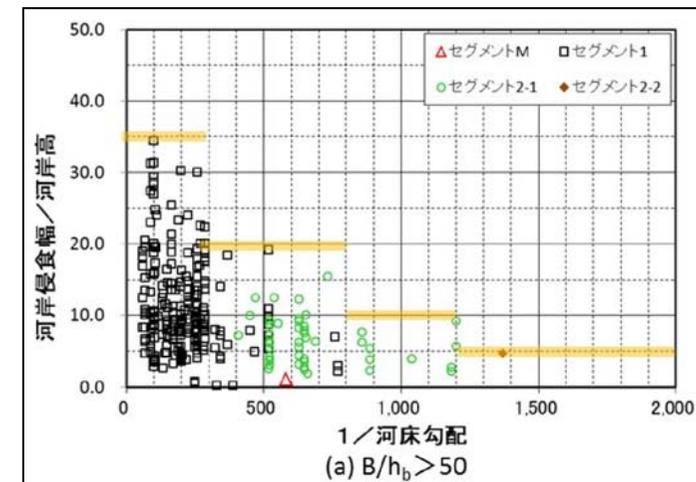
## 家屋倒壊等氾濫想定区域

- ◆ 浸水継続時間が短く、浸水深が浅い所では、身を守る方法として、家屋内の高い場所に避難し浸水から逃れる『垂直避難』を行うことが考えられます。
- ◆ しかし、①氾濫水の流れの力が大きく家屋倒壊の危険がある所や②河川の流れにより土地が侵食され流失する危険がある所では、垂直避難は避けるべきです。
- ◆ ①については、家屋等が無い状態を想定して氾濫解析を行い、水深・流速による外力と家屋の耐力(転倒・滑動)を比較し、耐力を超える外力が生じ得る範囲を検討しました。
- ◆ ②については、日本全国の類似河川における侵食幅の実績を当該河川に当てはめ、侵食範囲を検討しました。
- ◆ これらを『家屋倒壊等氾濫想定区域』として示しています。

### 木造家屋の倒壊等限界の試算例



### 侵食幅推定グラフと参考図



○ 洪水時に家屋倒壊等のおそれがある区域を、「洪水時家屋倒壊危険ゾーン」として浸水想定区域図に表示し、屋内安全確保(垂直避難)の適否の判断等に活用することとしている。  
(洪水浸水想定区域図作成マニュアルに規定)

